

11月から来年3月まで市内全域で 遺跡分布調査を実施します

この調査は昨年度 鶴川地区を中心に行いましたが、今年度は市内全域での調査を実施する予定です。市民の皆さんのご協力をお願いします。

目的

埋蔵文化財を保護するために使われる「遺跡地図」の改編を目的として実施します。文化財保護法に基づいて町田市が実施する調査です。

対象地域

市内全域の畑地、山林、荒蕪地等を対象として行います。昨年度調査した地区については対象から除外します。

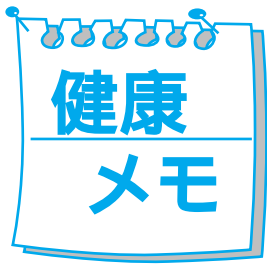
調査人員

市から委託された調査会社の調査員4〜5名が各地域を回って調査を行います。調査員は全員が町田市教育委員会が発行した調査員章のネームプレートを身につけています。

調査方法

地面上に散布している土器片や石器などを採集して歩きます。遺跡の発掘調査とは異なりますので、地面の下を掘り起こすような作業は一切行いません。また、農作物が栽培されている畑につきましては事前に土地所有者の方に了解を頂いてから立ち入るようにします。

市から委託された調査会社の調査員4〜5名が各地域を回って調査を行います。調査員は全員が町田市教育委員会が発行した調査員章のネームプレートを身につけています。



(町田市医師会)

私たちの周囲には身体にとって良くない物質が種々知られています。中でも発がん性物質と言われ、少量であってもがんの原因と考えられ、その発生製造が厳しく規制されているものもあります。これらは主に動物実験や実際に人間での例で実証されています。ところでご存じでしょうか、その昔、ウサギの耳にコールタールをぬりつけてそこにがんを人工的に作り出したという事実を。最近のこの情報化時代ですから周知のこともあろうませんが、たばこ

タバコについて

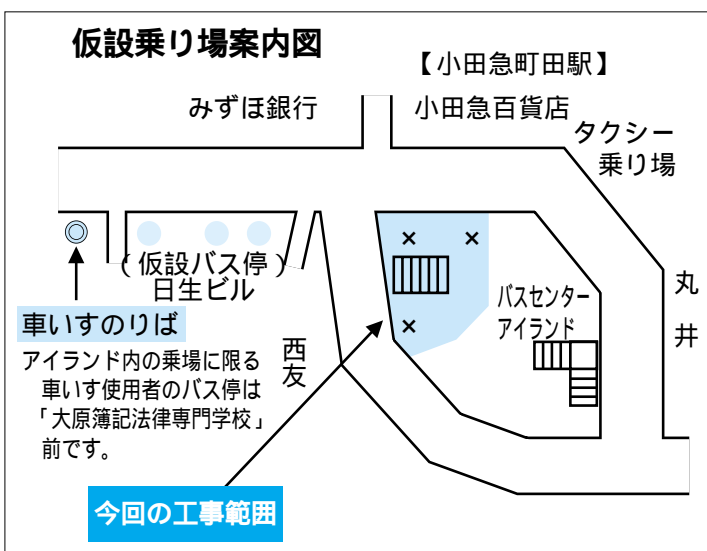
による肺がんその他の発がんの危険性やその他にも様々な病気の原因となることを。先進国の中では、はずかしいとされる程禁煙運動が一番遅れている国が日本であることを。喫煙の低年齢化、歩きタバコ等、街を歩いているとおぞましい光景がいくつでも見られます。一方では徐々にではあります

が、タバコに対するしめつけも強くなり、当然の事と思われる医師会館の全面禁煙が最近報じられました。再び昔の話で若い方にはびんごないかもしませんが、タバコは現在のJ-T以前は専売公社という国営の製造及び販売でした。もちろんその害については十分に判

つていたはずですが、外国からの輸入も加わりタバコは生活の中に悪の根源としてびこってしまっただけです。趣味の世界といってしまう確かに一種の趣味ですがなんと悪趣味でめいわくこの上ないものでしょうか。かぜをひいた後にいつまでたってもセキ、タンが止まらないといながら、おいしくないといいたがらタバコを吸い続けている方が結構おられます。その中には気管支喘息という病気になってしまいう方もいらつやいます。

最近、禁煙外来という喫煙習慣がニコチン中毒症として治療の対象とした取り組みが注目され、成果を上げていくと聞きます。しかし、自分にとって悪いことというだけでなく家族や周囲の人々にも悪影響を及ぼしていることを理解、自覚しなければ決してうまくいく治療ではないように思えます。

車いす使用の方へ
車いす使用の方は、工事期間中アイランド内を利用できないため、仮設の乗り場を設けます。



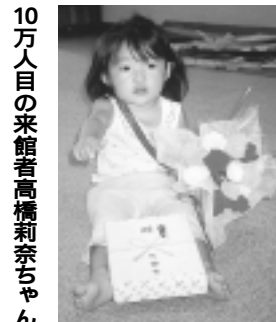
4番線	町14	急行山崎団地行
	町15	境川団地經由山崎団地行
	町24	市民病院經由山崎団地行
6番線	町20	境川団地經由山崎団地センター行
	町23	市民病院經由山崎団地センター行
	町25	深夜・山団センター經由野津田車庫行
5番線	町13	急行山崎団地センター行
	5番線のうち、「町13」のみ6番線仮設バス乗り場より乗車	
7番線	町25	山崎団地センター經由野津田車庫行
	町37	市民病院經由やくし台センター行
日本生命ビル前仮設バス乗り場へ移動		
1番線	町41	藤の台団地行
	町41	深夜藤の台団地行
	町42	急行藤の台団地行
アイランド内左図 の位置へ移動		
7番線	夜間高速バス広島行	
	アイランド内左図 の位置へ移動	

南大谷子どもクラブ 来館者10万人達成

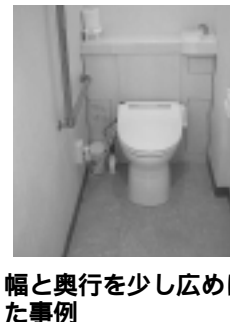
南大谷子どもクラブは、地域の皆さんの強い要望により、子どもセンターはあんについで2館目の「子育て・子育ての拠点」として、2000年1月にオープンしました。乳幼児から高校生まで1日平均約1000人の来館者があります。10万人目は9月19日午前中に遊びに来た木曾町在住、高橋莉奈ちゃん(1歳11か月)です。市

南大谷子どもクラブ 来館者10万人達成

からの記念品(フォトフレーム)と花束が贈られました。



オムツ替えシートのある事例



幅と奥行を少し広めにした事例

業務核都市基本構想(素案)に対する意見募集

国の第5次首都圏基本計画において、町田市と相模原市を中心とする地域は「広域連携拠点」として育成・整備されることになり、両市は業務核都市として位置づけられました。これを受け、東京都と神奈川県は共同で、新しい都市・生活価値を創造し、快適で豊かな生活の実現をめざした「町田・相模原業務核都市基本構想」の作成に取り組んでいます。この構想の素案に対するご意見を、11月20日(木)まで募集します。今後、お寄せいただいたご意見を踏まえて基本構想を作成し、主務大臣の同意を得て、決定する予定です。

基本構想(素案)は、都民情報ルーム(都庁第一本庁舎3階北側)、東京都都市計画局多摩開発企画課(都庁第二本庁舎21階中央)、町田市「市政情報やまびこ」、町田市企画調整課の各窓口で閲覧できるほか、東京都都市計画局のホームページ(<http://www.toshikei.metro.tokyo.jp/>)でもご覧いただけます。その他、意見募集の概要については、基本構想(素案)の閲覧窓口等においてあるチラシ、または上記ホームページをご覧ください。問東京都都市計画局多摩開発企画課 ☎03・5388・3247または町田市企画調整課 ☎724・2103

11月9日~15日 秋の火災予防週間 -我がまちを みんなで守ろう 火の用心-

東京消防庁町田消防署

情報をお寄せ下さい 車いす使用者が利用可能な「みんなのトイレ」

市では町田市福祉のまちづくり総合推進条例により、施設のバリアフリー化を進めています。最近高齢者・障がい者・子育て世代等から外出、通院、買い物、飲食等で利用する施設のバリアフリー情報に関するお問い合わせが増えています。そこで、市では福祉のまちづくり推進協議会や市民団体と協働で、民間・公共施設、駅、交通等のバリアフリーマップ作成(インターネットや冊子で情報提供)の調査を進めています。バリアフリーマップでは、「みんなのトイレ」(車いす使用者が利用可能)

のある施設を基本に、様々なバリアフリー情報掲載を考えています。このために、民間施設の「みんなのトイレ」についての情報を募集しています。所有者・利用者などからの情報をお寄せ下さい。その他にも、手話対応や点字等の特徴あるバリアフリーサービスを行っている施設についても連絡をお待ちしています。連絡は11月29日までに電話またはFAXで福祉総務課(☎724・2133 FAX724・1187)までお願いします。